

セミナー等による若手女性の農業基礎知識の習得

1 普及活動のねらい

農業従事者の減少が見込まれる中、農業経営体の維持のために男女共同参画の実現は不可欠であり、農業経営における女性農業者の役割は重要である。一方、農業者との婚姻等により農村社会の一員となった女性は農業・農家生活に関わる基礎知識の不足が懸念されるが、習得する機会が少ない。そこで概ね40歳代までの女性農業者を対象としてセミナーの開催や情報提供等により知識習得を支援している。

2 普及活動の成果

計3回のセミナーを開催し、参加者は延べ55名（33名、17名、5名）、うち若手女性農業者は10名（4名、5名、1名）だった。受講者に対するアンケートでは約9割の参加者がセミナーの内容を「理解できた」と回答した。

また、12月に対象者に対して、経営参画に関する意識調査を実施したところ8名が前年度より知識・技術の習得、経営参画意識の向上が見られた。

3 普及活動の内容

セミナーの開催、情報紙の配布、個別巡回の3つの活動により対象者の知識習得を支援した。

セミナーについては、7月、11月、12月の計3回開催した。第1回はJAあいち経済連 瀧 勝俊主管による「土づくりの基礎知識」、第2回は税理士法人成和 渡邊利明税理士による「農業簿記の使いみち」、第3回は(株)東海近畿クボタ社員、JAあいち海部南部営農センター職員による「安全安心な農業機械の管理と使い方～耕うん機・管理機～」をテーマにから講義・実習を行った。各セミナーともに参加者の関心が高く、多くの質問が殺到した。

情報紙については、「経営計画」（6月）、「土づくり」（9月）、「農業版BCP」（12月）の計3回配付した。毎回、対象者へのアンケートで内容に対する反応を確認し、対象者のニーズを把握するよう努めた。

また、個別巡回では、個別の課題に対応するとともに対象者の現況を直接把握する機会として活動した。



写真：セミナーで説明を熱心に聞く参加者

重点課題名	1 海部地域の多様な担い手の確保・育成
普及事項名	(3) 女性農業者の能力向上に向けた取組推進